

掛川の水について考えるシンポジウム

1. 開催日 令和元年 12 月 3 日（火） 13：30～16：00
2. 場 所 掛川市 生涯学習センター（大ホール）
3. 内 容

リニア中央新幹線工事に伴う大井川の流量減少問題をテーマにした「掛川の水について考えるシンポジウム」を掛川市内で開催しました。主催は掛川市ですが、当協議会も協賛として対応をしました。

第1部では、難波喬司副知事が「リニア中央新幹線建設に係る大井川の水問題の現状・課題の対応」と題しまして基調講演を行ない、『大井川の水は県民の共有財産。県民の不安を払拭するように JR 東海と対話を進めていく』と強調しました。

第2部では、「掛川の水について考える」をテーマに、松井三郎 掛川市長をコーディネーターとし、難波副知事を含め水野薫 氏（大井川右岸土地改良区理事）、平井文男 氏（富士東製茶農業協同組合組合長）、大石良治 氏（東遠工業用水道企業団事務局長）、宮地正彦 氏（中東遠総合医療センター企業長・院長）、平出松子 氏（上水道家庭用利用者）をパネリストに招き、水不足に苦しんできた歴史やリニア工事への懸念について討論がなされ、水量減少や自然環境への影響を懸念する意見が強調されました。

松井 掛川市長は、「水は全量戻すことを条件にしっかり協議をまとめるよう JR 東海や国に伝えていきたい」と表明しました。

会場には関心の高い市民など、約 500 人が聴講されました。



講演会の様子



パネルディスカッションの様子